

奥四万十で頑張る！！

～FSC材の販路開拓の取り組み「梶原町」の巻～

平成28年11月末の2日間、「一般社団法人 木と住まい研究協会」（理事長：有馬孝禮 東京大学名誉教授）の一行の方々が梶原町に視察と交流にお越しくできました。

今回の取り組みは、梶原町森林組合、梶原町役場、高知県須崎林業事務所の三者で連携して、高知県産の木材として梶原町のFSC材のPRを行いました。その様子をご報告します！

（一社）木と住まい研究協会と梶原町森林組合、梶原町役場、県須崎林業事務所と交流

梶原町には、総面積の9割を占めるスギやヒノキの豊富な森林資源があり、柱や梁桁などの住宅部材に適した木材が生産されています。

また、梶原町森林組合では、環境に配慮した適切な森林管理をすすめる森林を認証するFSC森林認証制度によって、平成12年に団体としては日本で初めて認証を取得し、FSC材を供給することが可能となっています。

さらに、梶原町には東京オリンピックに向けて建設される新国立競技場の設計に携わっている、世界的に著名な建築家である隈研吾氏が設計した木造建築物が4棟もあります。

（写真右：梶原町役場庁舎）



このように梶原町の先進的な森林・木材の取り組みや三者（森林組合、役場、県林業事務所）が連携したことで今回、「一般社団法人木と住まい研究協会」の梶原町への訪問が実現したと考えています。

まず、梶原町森林組合に到着した一行の方に会議室にて、県須崎林業事務所から高知県の木材について、役場からは町の環境の取り組み、森林組合からはFSC材や産地ツアーの取り組みなどの説明を行いました。

続いて参加者からの質問を受けるなど意見交換を行い、高知県や梶原町についての認識を深めていただきました。

意見交換後は、森林組合事務所に併設している製材工場の視察を行い、山から生産された原木が森林組合の山元貯木場に集まり、



県須崎林業事務所職員によるプレゼンテーション

その後、原木を選別し、製材工場で住宅用部材として製材される流れを見ていただきました。



栲原町森林組合の山元貯木場



栲原町森林組合製材工場

栲原町役場に移動した一行は、栲原町長と意見交換を行いました。約1時間、栲原町の環境の取り組みなど町長とじっくりお話しして盛り上がりおりました。

(写真右：栲原町役場町長室にて)



1日目の最後は、雲の上のホテルにて参加者による交流会を実施し、交流を深めました。



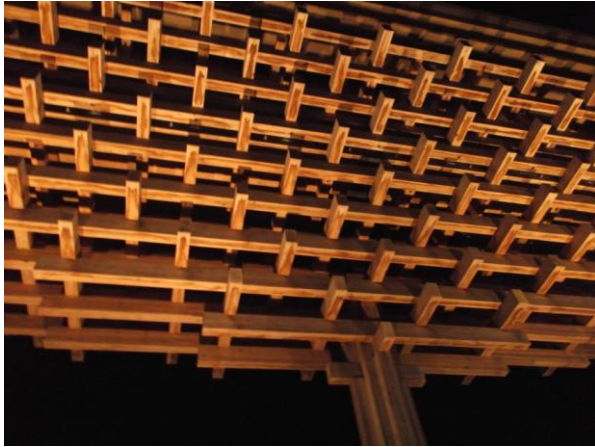
交流会の様子

(一社) 木と住まい研究協会 有馬理事長



高知県須崎林業事務所 二宮所長

交流会が終わると、雲の上のホテル施設と温泉及びプール施設を結ぶ木橋ミュージアムを見学しました。栲原の綺麗な星空とライトアップされた木橋ミュージアム（木造建築物）の神秘的な光景に皆、感嘆の声を上げておりました。



木橋ミュージアム

2日目は、栲原町内の役場をはじめ、ゆすはら座や木橋の木造建築物をさらにじっくり見学していただきました。



ゆすはら座



三嶋神社につながる木橋

最後に、今回の栲原町への訪問について「木と住まい研究協会」の方々にご感想をお聞きすると、「栲原町の取り組みや隈建築家の建築物は素晴らしい」と、今回の訪問に大変満足していただけたと感じました。

今回のように民間の森林組合だけでなく、行政も一緒に連携して三者による（森林組合、役場、県林業事務所）取り組みによって、関東や関西などの大都市圏の方々へのPRを図っていくことも必要と考えます。（by 振興課長）